

認を徹底させることとした。

・電子システム「Sliido」の導入は好評であった。

・3～4月にコンパクトなイベントの開催が可能かを検討する。

◇広報委員会 茅原副委員長

・12月9日に委員会を開催した。

・12月2日にHP「オリジナルコンテンツ」を新設し、オリジナル記事として座談会「2019年秋ドラマを語る！」を公開した。同季まとめ編も年内に公開予定。ドラマ座談会については今後も継続的に行いたい。

・GALAC12月号特集が朝日新聞論壇時評に選出されたことを正会員・Gメンバーに通知し、Gメンバーサイト上でのGALAC電子版閲覧を促した。

2. その他

①正会員退会の件

草川衛さん、武田三千代さん

②2020年スケジュールについて

〈理事選挙〉

1月理事会、選挙管理委員指名。3

月初旬、投票用紙発送。3月下旬、開票。

6月中旬、総会（新理事会、新委員会発足）。

6月中旬、総会（新理事会、新委員会発足）。

6月中旬、総会（新理事会、新委員会発足）。

6月中旬、総会（新理事会、新委員会発足）。

〈ギャラクシー賞〉

志賀信夫賞 2月初旬、推薦用紙配布。3月初旬、締切。3月中に選考会

作品賞 2月初旬、エントリー受付開始。6月1日贈賞式。

③GALAC2月号発送の件

発送業者の休日確保により年内発送

ができないため、維持会員社・定期購読者などへの発送は2020年1

月6日以降となることを了承した。正会員へは12月27日に事務局から発送する。

送する。

今後の理事会

1月30日（木）、2月21日（金）

【出席】

音好宏、藤田真文、川喜田尚、水島

宏明、稗田政憲、出田幸彦、五井千

鶴子、服部千恵子、市村元、入江た

のし、茅原良平、小林毅、坂本衛、

鈴木健司、鈴木嘉一、桧山珠美、山

田健太、中島好登

会議記録

12月

9日

11日

17日

19日

24日

25日

出版編集委員会

（選奨）ラジオ定例部会

（選奨）CM定例部会

理事会

（選奨）テレビ月評会

今年も
ありがとうございました。
来年もよろしく
お願い致します!!



（ほ）うこん

題字・清水英夫

GALAC・2月号・付録
2020年2月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <https://houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

ギャラクシー賞 応募規定再検討

—12月理事会報告—

2019年12月24日、12月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 水島委員長

・12月11日に委員会を開催した。

・3月号特集「テレビの広告ビジネスが変わる」。年内取材も完了し、一部原稿作業も進んでいる。

・4月号は時代劇特集を予定している。番組自体が減っている一方で、戦隊モノや2・5次元など新しいコンテンツという切り口からも取り上げるよう検討している。

・12月号特集「公共メディアとは何か」が、朝日新聞の論壇時評【論壇委員が選ぶ今月の3点】に選出された。

◇選奨事業委員会 稗田委員長

前回理事会で検討した「ギャラクシー賞応募規定改案」の改定案を

再度理事会に提出した。大枠は理事会で承認し、細部の変更は選奨事業委員長、専務理事、事務局に一任することを了承した。

〈テレビ部門〉 出田委員長

・11月27日に月評会を開催した。月間賞には、BS1スペシャル「女優たちの終わらない夏・終われない夏」(NHK)、目撃!につぼん「激論のトリエンナーレ」作家と市民の75日(NHK)、ザ・フォーカス「さよなら前田有楽」成人映画館最後の日々(RKB毎日放送)、アナザースカイII「出川哲朗」(日本テレビ)の4本を選んだ。

〈ラジオ部門〉 五井委員長

・12月17日に定例会を開催し、「若者向け番組 FM編」をテーマに「Groover's Dive」(Z I

P FM)、「大窪シゲキの9ジラジ」(広島エフエム)を聴取し議論を交わした。

〈CM部門〉 服部委員長

・12月19日に定例会を開催し、35作品のCMを視聴した。Apple Holiday「The Surprise」、ティファニー×ゼクシイ「TIFFANY BLUE」、ソフトバンク「恋人がサンタクロース篇」などのクリスマスCMが話題となった。

・GALAC2月号より「CMG ALAXY」4ページ構成がスタートした。

〈報道活動部門〉 市村副委員長

・報告は特になし。2月に情報交換会を開催予定。

◇企画事業委員会 事務局

・11月27日に委員会を開催し、セミナーのSNS対応について検討した。

・10月セミナーではLIVE配信や写真撮影は禁止としたが、部内共有や確認のための録音は可とした。登壇者が後日SNSにセミナーまとめを公開した案件については、今後は登壇者との間の事前確